



かみのせき 議会だより

2016
10/28

No.136



10月16日 どんでん祭り

目次

平成28年9月定例議会 議案

平成28年度上関町一般会計
補正予算について 2P～

条例の制定

教育委員の任命・人権擁護委員の推薦

平成27年度決算の認定・監査報告 他

一般質問

3名が町の取り組みを問う 4～5P

議員研修・編集後記

6P

平成28年度9月定例議会

行政報告・議案

平成27年度決算の認定

9月定例議会は9月8日から16日までの9日間で開かれ、原案のとおり可決、承認されました。

28年度補正予算

一般会計

歳入

◎ 地方交付税のうち普通交付税による増額
1億1543万6千円

◎ 基金繰入金の減額
9411万円

◎ 前年度決算繰越金の増額
7221万3千円

◎ 臨時財政対策および住宅建設に伴う町債の減額
1450万円

歳出

◎ 人事異動に伴う各費目での人件費の増・減額

◎ 国への事業の移行に伴う事業費の減額

◎ 財政調整基金積立金の増額
◎ 各費目において社会保障・税番号制度システム改修等委託料の増額

◎ 漁港建設費の増額
100万円

◎ 住宅建設事業費の増額
160万円

歳入歳出予算の総額にそれぞれ9000万6千円を追加し、予算総額を33億5390万6千円とするものです。

6月定例議会以降の行政の執行状況の報告

① 地域見守り支えあい活動

6月30日に「上関町における地域見守り・支えあい活動に関する協定」の調印式が行われました。この協定は、高齢者などの支援が必要な方に対する見守り活動を円滑に実施し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる町づくりを目的としています。

② 上関町総合教育会議

全ての地方公共団体に「総合教育会議」を設置することとなりました。この会議は、首長と教育委員会が教育行政の指針となる大綱の策定や重点施策などについて、意思疎通を図り、教育の課題を共有し、効果的

に教育行政を推進していく場です。構成は、町長と教育長、教育委員会委員の6名です。

③ 地域おこし協力隊

8月1日に地域おこし協力隊員、杉渕風さんが八島地区に着任しました。一定の期間この地域に居住し地域おこしの取組みや、住民生活支援など地域に根付いた活動をとおして、地域の活性化に取り組んでいただきます。

④ 夏から秋にかけての諸行事

◎ 4年に一度、千百有余年の歴史と伝統を誇る「神舞」が8月16日～8月20日にかけて、祝島区、祝島神舞奉賛会の主催により開催されました。
◎ 第25回「水軍まつり」が7月23日に開催されました。



盛り上がった敬老会（八島地区）

本定例会提出議案は、平成28年度一般会計および特別会計8会計の歳入歳出補正予算、条例の制定2件、委員の任命1件ならびに推薦1件、平成27年度一般会計および特別会計歳入歳出決算の認定1件、ならびに報告3件です。

特別会計

8 会計による主な補正予算

歳入

○それぞれの会計において前年度決算繰越金の増額
○一般会計からの繰入金金の増・減額

歳出

○人事異動に伴う人件費の増・減額

◇各会計の主なもの

●国民健康保険事業
共同事業拠出金の増額

2146万6千円

●介護保険

介護給付費準備基金積立金の増額

1174万9千円

介護給付費負担金等の精算による償還金の増額

1932万円

●航運事業

かみのせき丸の空調機器設置工事費の増額

111万3千円

条例の制定

◆上関町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の一部改正に伴い改正するものです。

◆固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定

行政不服審査法が施行され、それに伴う関係法律の整備等がなされたため、改正する必要が生じたものです。

上関町教育委員会委員の任命

教育委員である橋部好明委員と光壽光夫委員が、本年9月30日をもって任期満了となりますが、引き続き委員に再任されました。



光壽 光夫 委員



橋部 好明 委員

諮問

・人権擁護委員の推薦

玉木光宏委員の任期が平成28年12月31日で満了となるので、新たに佐原正文さんが推薦されました。

退任される玉木光宏さんには、ご尽力を賜り有難うございました。



佐原 正文 さん

臨時議会

◆工事請負契約の締結について（平成28年度室津地区定住促進住宅新築（建築主体）工事）

◆工事請負契約の締結について（平成28～30年度上関町風力発電事業建設工事）

◆動産の取得について（平成28年度上関町スクールバス購入事業）

報告

第54期上関航運有限公司の事業計画

第54期（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

☆収支および損失見込み

総収益 5025万円
総費用 9638万2千円
純損失 4613万1千円
営業費用に新造船の減価償却費、支払利息を新たに算入している。

☆航路経営

平成29年4月に新造船就航が予定されていることから費用面での経営の安定化が図られると思われる。

収益については、島民の人口減少による利用減少状況において島外利用者の確保を図っていくと共に、生活航路の役割を果たし、安全な航路を心がけて参ります。



第5期一般財団法人なごみの経営状況

第5期（平成27年4月1日～平成28年3月31日まで）

鳩子の湯

来館者数は、前年より631人少ない、12万5260人

収益は、前年より668万8217円少ない9317万7180円

費用は、前年より243万2218円少ない8987万8237円

利益は329万8943円

道の駅上関海峡

平成27年4月1日～平成28年3月31日までの来館者数は、19万6249人

収益1億96万5563円
費用1億49万7719円
利益 46万7844円

本部会計

収益 1386円
費用 433万4864円
本部会計では、収益事業を行っておりませんので、433万3478円の欠損。



山谷 隆司 監査委員

一般会計は歳出決算額32億5251万2951円で残額は1億1526万8521円です。特別会計は歳出総額18億793万5310円で残額5472万2968円を繰り越した。

一般会計の未済額は1584万8406円で特別会計の未済額は2021万7722円となっております。滞納徴収に一層の努力をお願いする。最終的には弁護士にも相談し法的措置を取るべきと考えます。多岐に亘る事業を行っておりますが住民に負担をかけない運営をお願いしたい。庁舎については早い建設をお願いしたい。風力発電については財政難に至ることのない運営をお願いしたい。町づくり定住対策には、医師の必要性は欠かせない事項である

と考えますので医師確保に努め将来を見据えた町づくりをお願いする。

平成27年度決算に基づく健全化判断比率

	健全化判断比率	平成27年度	早期健全化基準
①	実質赤字比率	—	15%
②	連結実質赤字比率	—	20%
③	実質公債費比率	9.8%	25%
④	将来負担比率	—	350%

町政のここが聞きたい 一般質問

朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会開催について

答 引き受けとなれば、官民が一体となって取り組む



山村 泰志 議員

質問

① 先の3月議会の朝鮮通信使関連質問のその後の進捗について4点質問する。

② 交流会開催の進展状況は。

③ 柳井市や平生町の官民へ協力要請を考へては。

④ 上関来航図のユネスコ記憶遺産登録申請手続きの現状のプロセス。また、記憶遺産登録時のイベント等はあるのか。

⑤ 当町で交流会を開催する場合、どのようなイベントを考へているのか。

教育長答弁

① 関係機関と協議を重ねているが、結論に至っていない。平成29年3月までに、態度を表明する。

② 交流会を開催する場合、当町で対応できない部分は、協力依頼等を考へていく。

③ 来年夏には最終審査の結果が出る予定。登録時のイベントについては、推進部会の状況を踏まえ決定したい。

④ 設置されることになる実行委員等で協議していきたいと考へている。



全国大会の様子（滋賀県）

地域医療の充実と救急搬送体制の整備について

答 出来る限りの支援をしたい

高齢化が進み離島を抱える本町では、地域医療の充実は重要な課題である。今後も医師や看護師、保健師等の役割は更に増えることが予想される。継続的な医療体制を確保するため、診療所等の人材確保・保健・福祉・介護との一体的な体制整備が必要となるが将来の見通しは。また、離島の救急搬送体制の整備についてどのように考えているかお尋ねする。

質問

清水 敏保 議員



町長答弁

町営バスの運行や福祉優待バスの助成等により通院等の便宜を図っているが、へき地診療所の担う役割は大きいと考える。地域の実情に依りて常勤看護師の役割を見直し、地域の医療・福祉・介護の相談窓口として介護予防を目的とする通いの場を持たせた。今後、祝島診療所についても、同じく検討したい。夜間・荒天時の救急患者搬送については、関係機関と調整しながら充実強化していく。



八島いきいきデイサービス

自主財源の確保は

答 財源確保に努めることが私の責務

少子高齢化や人口流出等による過疎化、地域活力の低下など、深刻な諸問題の状況を打開するため、新たな産業拠点の整備をされ、観光客数も20万人と4倍に増えて、予想以上の成果が出ている。今後は、いかに経済効果、さらには地域活性化に結びつけていけるのか。鳩子の湯・道の駅の活用、また、自主財源の確保についての所見をうかがう。

質問

嶋尾 忠宏 議員



町長答弁

財源確保には、歳入増、経費削減の方法があるが、これ以上の経費削減はむずかしい。歳入増につなげるためには、施設を拠点に人・金を地域内でうまく循環させるよう取り組みたい。風力発電事業やふるさと納税についても財源確保と地元経済の活性化という観点から力を入れるよう指示している。町全体が一丸となり同じ方向を目指せば難局を乗り越えられる。



にぎわう道の駅 上関海峡

柳井地区広域市町議会議員研修会

7月28日、柳井クルーズホテルにおいて、町づくりはひとづくり「地域資源の見つけ方、活かし方」を演題として、合同会社フオーティR&C代表 水津陽子氏を講師に招き研修しました。

近隣地域の地域資源・集客・人口などのデータを元に全国先進地での事例を交えた講演を聞き、今後の地域資源を活かした町づくり観光振興に向けて大変参考になりました。



熊毛郡議会広報連絡協議会定期総会

7月27日、上関町総合文化センターにおいて「平生町・田布施町・上関町」の広報正副委員長、事務局職員で「平成27年度事業報告決算」について協議をした後、情報交換を行いました。今年度の研修は、10月に上関町において広報委員による他町の広報紙を参考に研修することになりました。



研修報告

平成28年度町村議会広報クリニク

広報広聴特別委員会

委員長 岩木和美

7月14日に東京都千代田区の全国町村議員会館で行われた町村議会広報研修会に広報委員が参加しました。専門の先生の講義では住民参加の紙面企画をすることによって考えられる効果について学びました。

11町村議会だよりのクリニクでは、文字の長さ、書体などの指導があり、とても勉強になりました。

今回の研修で学んだ事を活かし、これからも親しみやすく読んでいただける「議会だより」を作成したいと思います。



編集後記

猛暑の夏も終わり、秋の装いになってきました。今年は、数多くの台風が上陸し、各地で災害が起きていますが、上関町では大きな被害は受けていません。熊本地震など地震が起きた時、犠牲者数の大半は最初の一撃で生じ、直下地震では住民による共助による救命は、ほとんど期待できないと言われております。町民一人一人が事前に防災対応を考え、備えておくことが重要となってきます。自助・共助の精神に基づき地域防災力の充実・強化をしていきたいと思います。

議会広報広聴特別委員会

委員長	岩木和美
副委員長	嶋尾忠宏
委員	海下竜一郎
委員	山戸貞夫
委員	山村泰志

次回定例会の初日は12月6日の予定です。

発行責任者／議会議長 西 哲夫

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

編集 集／議会広報広聴調査特別委員会
印刷所／中村印刷株式会社